

# 南丹保健所管内の感染症発生動向調査による週報

(急性呼吸器感染症定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

第 22 週 2026 年 5 月 25 日 ~ 5 月 31 日

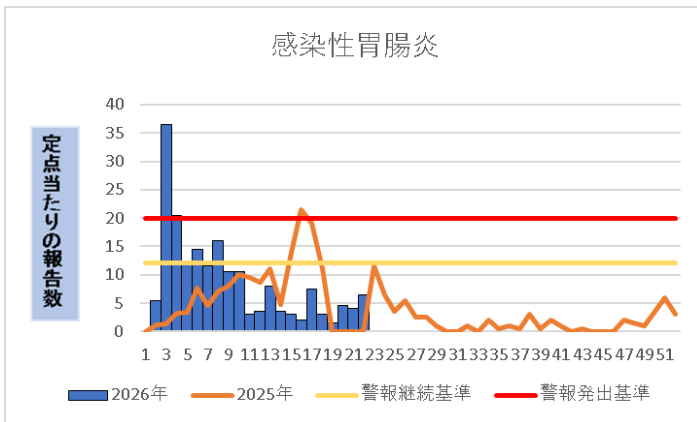
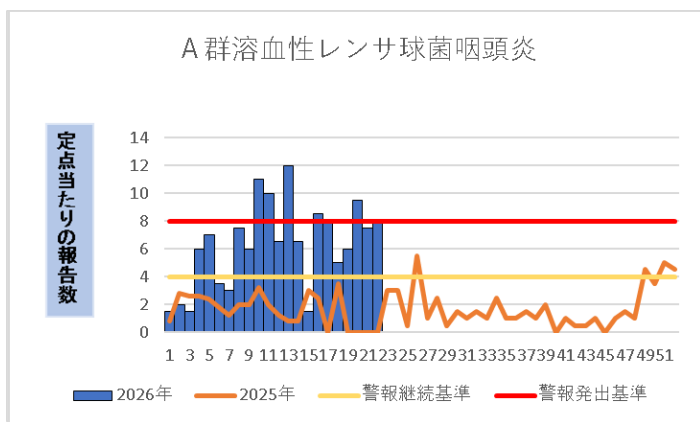
## 今週のコメント

南丹保健所管内では、**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**が**警報レベル**継続中です。  
また、**水痘**が**警報レベル**解除となりました。

### 2026 年第 22 週の報告です。

- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点あたり報告数は、南丹 8.0(前週 7.5)、京都府 4.13(前週 4.76)となっています。
- 感染性胃腸炎の定点あたり報告数は、南丹 6.5(前週 4.0)、京都府 5.58(前週 6.74)となっています。
- 水痘の定点あたりの報告数は、南丹 1.0(前週 0.5)、京都府 1.11(前週 1.00)となっています。

## 今週のグラフ (下記のグラフは管内上位2位疾患のグラフを掲載しています)



1 『5年移動平均』は、過去5年間の平均値の変化を表しています。

2 『5年移動平均+2SD』は、過去5年間のデータのばらつきを考慮した上限を示しており、データの約95%がこの線より下に収まるとされる基準です。

南丹保健所管内の A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の警報レベルが続いています。  
手洗いや咳エチケット、傷口の清潔な処置といった基本的な感染防止対策を心がけましょう。

### 【A 群溶血性レンサ球菌とは】

A 群レンサ球菌による上気道の感染症です。感染経路は、主に飛沫感染と接触感染があります。

冬と春から初夏にかけて2つのピークがあり、家庭や学校での集団感染が多い感染症です、

### 【症状】

38℃以上の発熱、咽頭発赤、莓状の舌等があります。熱は3日から5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善します。まれに重症化し、喉や舌、全身に発赤が広がる「猩紅熱(しょうこうねつ)」に移行することがあります。

### 【予防方法について】

有効なワクチンはありません。そのため、手洗いや咳エチケット、傷口の清潔な処置といった基本的な感染防止対策を心がけましょう

